



龍馬

学校教育目標

「あすをひらく」

令和4年度 小友小学校 学校報 No.19

令和4年12月23日

家族団らんで温かく楽しい冬休みを!

明日から1月15日(日)まで23日間の長い休みが始まります。冬休みには年末年始があるので、1年間で一番家族で過ごす時間がたくさんあります。ぜひ家族団らんで温かい冬休みにしていただきたいと思います。また、火の事故、雪の事故、交通事故に気を付けて、安心・安全な冬休みになるようご指導よろしくお願ひします。

今日の冬休み前集会では、冬休みは家族のためにお手伝いなどをして、「ありがとう」と言われる行動をしようと呼びかけました。お家でもいろいろな思いやりのある行動に、ぜひ「ありがとう」と言ってあげてください。

今年も小友小学校へのご理解とご協力ありがとうございました。



6年生が「いのちの大切さ」出前講座を受講

12月8日(木)に、6年生が助産師の佐藤由紀さん、武石万里子さんから命の大切さについて学びました。

命の始まりから生まれるまでの基礎知識、胎児のもつたくましく生きる力などについて学びました。子どもたちは、自分がんばって生まれてきたことを実感し、自分が大切な存在であること、全ての人大切な存在であることを確信し合いました。



一月の予定

- 1(日) 元日
※1/4(水)まで学校閉鎖
- 9(月) 成人の日
- 16(月) 休み明け集会 街頭指導
※給食後下校13:10
- 17(火) 身体測定
- 18(水) 書き初め大会

- 20(金) キピー
- 23(月) 全校漢字テスト⑦
- 25(水) 読み聞かせ 職員会議
- 27(金) キピー
- 30(月) 委員会
- 31(火) 避難訓練

お詫びと訂正

前号(18号)の記事で、5年生の外国語の指導者の名前の漢字に誤りがありました。正しいのは下記の通りです。お詫びして訂正します。 誤「佐々木真知子」 → 正「佐々木真智子」

栄光の記録



秋田市秋季北部杯全県少年柔道大会

第16回美郷ウインターカップ少年フットサル大会

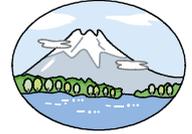
<団体> 高学年の部 優勝 小友唯心塾
低学年の部 第3位 小友唯心塾
<個人> 3年生の部 第3位 打矢 玲依
5年生の部 第3位 打矢 琉依

U10の部 Aブロック 準優勝 本荘南SSS

ジオパーク児童絵画コンテスト

ジュニア育成選手秋田 水泳記録会

入選 1年 渋谷 乙葉
2年 高橋 一輝
3年 岡本和佳奈



小学生男子100M自由形 第3位 工藤 煌大



秋田県読書感想文コンクール 秋田県教育長賞・優秀賞 作品

「わたしと未来のサバイバル」
小友小 5年 木村 安寿

「サバイバル」という言葉で、ぼうけんの物語のように感じましたが、これは、いじめにあった主人公が、学校で生きぬくための技を知っていく物語でした。学校が「サバイバル」というのが、何となく分かります。主人公の未来がいじめにあって学校に行くことができなくなったように、わたしも、友達との仲がうまくいかず、学校に行きたくないと思っていたことがあったからです。わたしも未来の気持ちと自分を重ねながら読んでいきました。

未来が通うことになったフリースクール「夏期特別アシストクラス」の担任の先生は、未来たちに、いじめを乗り越えて学校に行くためのいろいろな技を教えます。わたしが特に心に残った技は、「あだな作戦」です。これは、いじめっ子にまぬけなあだ名をつけることです。名前には、相手を名前どおりのものにする力があるそうです。まぬけな名前で呼んでいるうちに、いじめっこのことがこわくなくなるのです。この作戦のいいところは、相手にやり返すのではなく、気持ちで負けない力をつけられるところだと思います。未来がいじめっこにおもしろいあだなをつけて、観察日記までつけている様子を想像して、わたしは安心しました。この方法ならいじめっこがこわくなくなりそうです。

もう一つは、「SOS作戦」です。困ったときは、人に助けを呼べるようになるという技です。友達との関係がうまくいかなかったとき、わたしは、学校に行きたくない、逃げていました。誰にも言いたくなくて、一人で悩んでいました。そんなとき、母が、わたしの様子を気付いて、話を聞いてくれました。そして母は、「逃げたままでいいの。くやしくないの。」

と、言ってくれたのです。わたしは、母のその言葉を聞いて、逃げていた自分がなさけなくなりました。負けていられないと、勇気づけられて、学校に行ってみようと思えました。わたしにとって、母の言葉は、まほうの言葉でした。母に相談してよかったと思いました。だれかに助けを求めることは、かんたんなように思えますが、実際に自分がつらいときには、相談しにくいものだ実感しました。真名子先生は、助けを求めた未来をほめました。助けを求めることは、決して弱いことではありません。わたしも、一人で問題を解決しようとしていたけれど、周りの人に助けを求めていいんだ、頼っていいんだとあらためて思いました。

わたしは、真名子先生のいろいろな作戦から元気をもらいました。これからもわたしの周りで、いじめがおきたり、友達との関係がうまくいかなかったりすることがあるかもしれません。その時は、真名子先生や母のように、勇気や元気が出る言葉をかけてあげたいです。そして、わたし自身も、問題から逃げないこと、一人で抱えこまないことを大切にして、心の強い人になりたいです。

高橋桐矢「あたしたちのサバイバル教室」ポプラ社